

No.

Date. 25. 11. 17

Capo. 3 1-2ル Em

冷たい風

Gm

* E↑ 冷たい風 頬を撫でる

D 遠くの空 燐山渡る

Eh C 白い息が 言葉包む 肩すぼめて歩く ★★

G D 木の葉は 静かに落ちて
眼の支度始める

Eh G D よく見るに 梶原のようだ

C G この街 見渡す

Em Ar 静けさを 帰れてくる

D G 冬の訪れの奥に

Ar Em どこか心の深くに

An D Fm 何か影を落とす

冷たい風 頬を撫でる

遠くの空 燐山渡る

白い息が 言葉包む 肩すぼめて歩く

川面に映る光は

細く短く揺れてる

鳥達の声もやかて

小さくなつてゆく

流れの二の音

うつむいているだけでなく

新しい芽吹きの

季節 待ち続ける

★★